

第2章 高齢者の現状

本章では、計画策定の基礎資料として人口構造の推移や介護が必要となった原因のほか、平成19年度に実施した「介護保険利用状況調査」及び「高齢者実態調査」の結果を記載しました。

1 人口構造等

(1) 人口構造

本市の人口構造の現状として、国勢調査の結果と、過去4年間の住民基本台帳から年齢3区分の推移を把握します。

表2-1 年齢3区分の推移（国勢調査）

(各年10月1日)

区 分	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)
総人口	433,358人	432,193人	428,645人	426,178人
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
年少人口 (0～14歳)	70,473人	61,165人	56,940人	55,085人
	16.3%	14.2%	13.3%	12.9%
生産年齢人口 (15～64歳)	313,542人	310,247人	296,241人	281,732人
	72.4%	71.8%	69.1%	66.1%
老年人口 (65歳以上)	49,146人	60,725人	74,760人	89,292人
	11.3%	14.0%	17.4%	21.0%

※総人口には年齢不詳を含むため、3区分の計と一致しない。

表2-2 年齢3区分の推移（住民基本台帳）

(各年10月1日)

区 分	平成16年 (2004年)	平成17年 (2005年)	平成18年 (2006年)	平成19年 (2007年)
総人口	434,990人	433,974人	430,920人	429,404人
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
年少人口 (0～14歳)	56,341人	55,954人	55,420人	54,965人
	13.0%	12.9%	12.8%	12.8%
生産年齢人口 (15～64歳)	291,288人	287,741人	282,123人	277,305人
	67.0%	66.3%	65.5%	64.6%
老年人口 (65歳以上)	87,361人	90,279人	93,377人	97,134人
	20.1%	20.8%	21.7%	22.6%
65～74歳	50,702人	52,043人	53,550人	55,312人
	11.7%	12.0%	12.4%	12.9%
75歳以上	36,659人	38,236人	39,827人	41,822人
	8.4%	8.8%	9.3%	9.7%

※国勢調査は住民票の有無にかかわらず本市居住者を対象としているため住民基本台帳と一致しない。

(2) 世帯の状況

本市の世帯の状況を国勢調査の結果から把握します。

一世帯当たりの人員は2.65人で世帯規模の縮小傾向が続いています。

65歳以上の人がある世帯は60,967世帯で、平成12年調査より8,008世帯、15.1%増加しています。また、65歳以上の1人世帯は、13,659世帯で、平成12年調査より2,661世帯、24.2%増加しています。

表2-3 世帯の状況

(各年10月1日)

区 分	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)
総世帯数	139,018世帯	147,587世帯	156,316世帯	160,945世帯
一世帯当たり人員	3.01人	2.85人	2.74人	2.65人
高齢者のある世帯数	36,156世帯	43,905世帯	52,959世帯	60,967世帯
(高齢者のある世帯の割合)	(26.0%)	(29.7%)	(34.0%)	(38.0%)
高齢単独世帯	5,254世帯	7,566世帯	10,998世帯	13,659世帯
(総世帯数に対する割合)	(3.8%)	(5.1%)	(7.1%)	(8.5%)
(高齢者世帯数に対する割合)	(14.5%)	(17.2%)	(20.8%)	(22.4%)
高齢夫婦世帯	8,638世帯	11,924世帯	15,981世帯	19,292世帯
(総世帯数に対する割合)	(6.2%)	(8.1%)	(10.3%)	(12.0%)
(高齢者世帯数に対する割合)	(23.9%)	(27.2%)	(30.2%)	(31.6%)
同居世帯	22,264世帯	24,415世帯	25,980世帯	28,016世帯
(総世帯数に対する割合)	(16.0%)	(16.5%)	(16.7%)	(17.4%)
(高齢者世帯数に対する割合)	(61.6%)	(55.6%)	(49.1%)	(46.0%)

(国勢調査)

(3) 要介護認定者数の推移

各介護度別の認定者数の推移は、以下のとおりです。

平成 18 年度の介護保険法改正により、要支援状態区分が要支援 1 と要支援 2 に区分されました。

表 2-4 要介護認定者数の推移

(各月末日現在) (単位：人・%)

区 分	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	
平成 15 年 4 月	1,262	3,229	1,825	1,288	1,132	1,123	9,859	
	12.8	32.8	18.5	13.1	11.5	11.4	100.0	
平成 16 年 4 月	1,815	3,763	1,755	1,574	1,255	1,192	11,354	
	16.0	33.1	15.5	13.9	11.1	10.5	100.0	
平成 17 年 4 月	2,053	3,919	1,965	1,705	1,428	1,208	12,278	
	16.7	31.9	16.0	13.9	11.6	9.8	100.0	
区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
平成 18 年 4 月	2,507	177	3,900	1,909	2,173	1,472	1,173	13,311
	18.8	1.3	29.3	14.4	16.3	11.1	8.8	100.0
平成 19 年 4 月	1,899	1,698	2,399	2,256	2,455	1,568	1,445	13,720
	13.8	12.4	17.5	16.5	17.9	11.4	10.5	100.0
平成 20 年 4 月	1,847	1,743	2,502	2,315	2,671	1,757	1,466	14,301
	12.9	12.2	17.5	16.2	18.7	12.3	10.2	100.0

表中下段は、その時点の要介護認定者全数に対する各介護度人数の割合 (%)。

平成 18 年 4 月の「要支援 1」には「経過的要介護」2,266 人を含む

(参 考)

第 1 号被保険者に対する認定者数の割合は、平成 18 年度介護保険状況報告 (厚生労働省統計、平成 19 年 3 月末現在) によると、全国では 15.9%、神奈川県では 14.2% に対して、本市は 13.8% と低くなっています。

本市は、75 歳以上の割合が神奈川県を上回っているにもかかわらず、第 1 号被保険者認定者数の割合は低くなっています。

第 1 号被保険者認定者割合の比較

(単位：人)

	全 国	神奈川県	横須賀市	
	19 年 3 月末	19 年 3 月末	19 年 3 月末	20 年 3 月末
第 1 号被保険者数	26,763,282	1,580,086	95,708	99,139
75 歳以上	12,261,896	642,307	41,047	43,123
75 歳以上の割合	45.8%	40.7%	42.9%	43.5%
第 1 号被保険者認定者数	4,251,432	224,526	13,208	13,688
第 1 号被保険者認定者割合	15.9%	14.2%	13.8%	13.8%

資料：厚生労働省「平成 18 年度介護保険状況報告」、神奈川県「介護保険事業状況報告」

(4) 介護が必要となった原因

平成19年国民生活基礎調査（厚生労働省）によると、介護が必要となった原因は次のとおりとなっており、本市においても同様な傾向にあると考えます。

要支援者では「関節疾患」（20.4%）、「高齢による衰弱」（16.5%）、「脳血管疾患（脳卒中）」（14.8%）、「骨折・転倒」（12.6%）の順となっています。

要介護者では、「脳血管疾患（脳卒中）」（27.4%）、「認知症」（18.7%）、「高齢による衰弱」（12.5%）、「関節疾患」（9.2%）の順となっています。

脳血管疾患は、高血圧症や動脈硬化などの生活習慣病が原因となることが多く、食事や運動による日常生活習慣の改善による予防が必要と考えます。

そのほか介護が必要となる原因は、「認知症」「衰弱」「関節疾患」「骨折・転倒」などであり、健康長寿のためには介護予防が必要と考えます。

表2-5 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因の構成割合

(単位：%)

要介護度	脳血管疾患 (脳卒中)	認知症	高齢による衰弱	関節疾患	骨折・転倒	その他
総数	23.3	14.0	13.6	12.2	9.4	27.5
要支援者	14.8	3.2	16.5	20.4	12.6	32.5
要支援1	12.3	2.6	16.0	18.2	13.0	37.9
要支援2	17.4	3.8	17.1	22.6	12.2	26.9
要介護者	27.4	18.7	12.5	9.2	8.4	23.8
経過的要介護	13.5	1.6	19.1	25.0	1.0	39.8
要介護1	21.4	16.1	16.6	14.3	8.1	23.5
要介護2	26.3	18.1	12.8	10.6	7.7	24.5
要介護3	27.2	25.1	9.4	5.1	9.5	23.7
要介護4	36.3	17.8	9.6	4.7	12.9	18.7
要介護5	35.4	18.1	10.5	4.1	4.3	27.6

その他：心臓病、パーキンソン病、糖尿病、脊髄損傷、呼吸器疾患、がん等

資料：厚生労働省「平成19年国民生活基礎調査」

2 介護保険利用状況調査

ここでは、平成 19 年度に実施した「介護保険利用状況調査」の結果を記載しました。調査の概要と結果は、以下のとおりです。

(1) 調査の概要

① 調査の目的

介護保険サービスの利用状況を把握し、今後の介護保険の運営や介護保険事業計画策定の基礎資料を得ることを目的としました。

② 調査期間

平成 19 年 10 月 15 日から 11 月 30 日まで

③ 調査の対象者及び方法

調査対象は、平成 19 年 9 月 30 日現在で要支援、要介護認定を受けている方（サービス未利用者も含む）のうち、各介護度別に、無作為抽出により約 15%の方（2,000 人）を対象としました。

調査票の配布・回収は郵送により行いました。

平成 19 年 9 月 30 日現在の要支援、要介護認定数 (単位：人)

	認定者数	配布数	回答数	回答率
要支援 1・2	3,647	500	342	68.4%
要介護 1	2,487	356	215	60.4%
要介護 2	2,302	329	211	64.1%
要介護 3	2,518	360	246	68.3%
要介護 4	1,675	240	169	70.4%
要介護 5	1,499	215	148	68.8%
合計	14,128	2,000	1,331	66.6%

<参考>平成 19 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳搭載人口 (単位：人)

	人数	男	女
人口総数	429,404	215,444	213,960
65 歳以上	97,134	42,705	54,429
前期高齢者 (65～74 歳)	55,312 (56.9%)	26,689	28,623
後期高齢者 (75 歳以上)	41,822 (43.1%)	16,016	25,806

(2)調査の結果

① 調査の回答者

調査票への回答者をお尋ねしました。

(単位：人)

	要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	要介護 小計	合 計
本 人	198	57	41	18	6	2	124	322
家 族	124	139	159	212	145	134	789	913
その他	20	19	11	16	18	12	76	96
合 計	342	215	211	246	169	148	989	1,331

家族からの回答が69%を占め、本人からの回答は介護度が高くなるにつれ減少しています。

② 対象者の年齢

対象者の年齢をお尋ねしました。

(単位：人)

	要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	要介護 小計	合 計
40～64 歳	6	9	8	6	7	10	40	46
65～69 歳	14	11	10	11	4	10	46	60
70～74 歳	42	20	24	25	20	13	102	144
75～79 歳	77	35	42	28	23	21	149	226
80～84 歳	86	53	41	60	32	29	215	301
85～89 歳	76	46	40	47	37	22	192	268
90～94 歳	33	31	38	48	28	24	169	202
95～99 歳	7	9	7	18	13	15	62	69
100 歳～	0	1	1	3	2	2	9	9
無回答	1	0	0	0	3	2	5	6
合 計	342	215	211	246	169	148	989	1,331

回答者合計1,331人の大半は後期高齢者（75歳以上）が占め、81.2%（1,081人）となりました。

前期高齢者（65歳から74歳）は15.3%（204人）、第2号被保険者（40歳から64歳）は3.5%（46人）でした。

* 100歳以上の方について

- ・100歳が5人、101歳が2人、103歳が2人 計9人
- ・特別養護老人ホーム入所中の方が4名、有料老人ホーム入所中の方が1名、他の4名は在宅生活です（在宅4名のうち、2名は施設への短期入所を利用しています）。

③ 世帯の状況

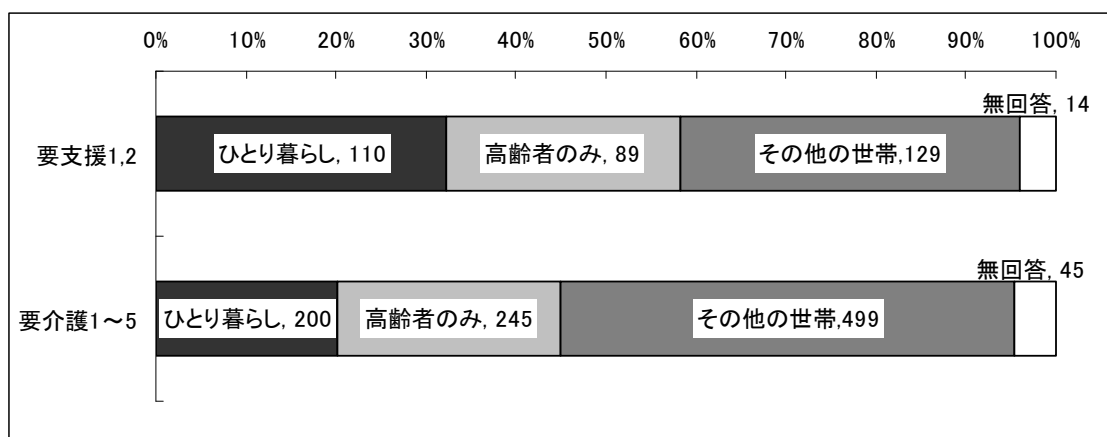
世帯の状況をお尋ねしました。

(単位：人)

	要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
ひとり暮らし (本人のみ)	110	64	35	48	33	20	310
高齢者のみの世帯 (家族が65歳以上)	89	52	57	58	37	41	334
その他の世帯 (64歳以下の方がいる)	129	95	107	129	88	80	628
無回答	14	4	12	11	11	7	59
合 計	342	215	211	246	169	148	1,331

ひとり暮らしと高齢者のみの世帯が644人であり、全体のほぼ半数となっています。

世帯の状況



④ ひとり暮らし高齢者の施設系サービス利用状況

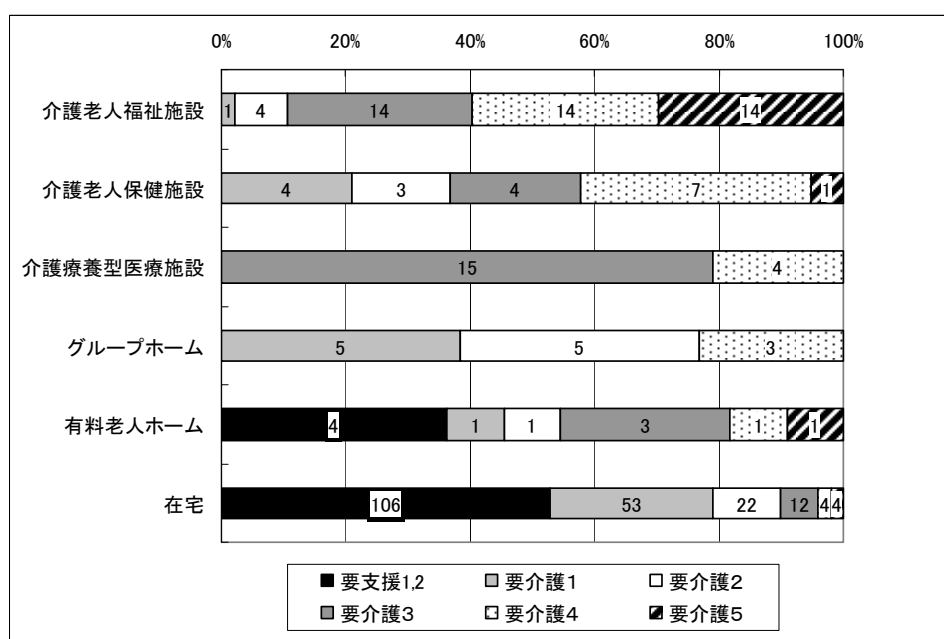
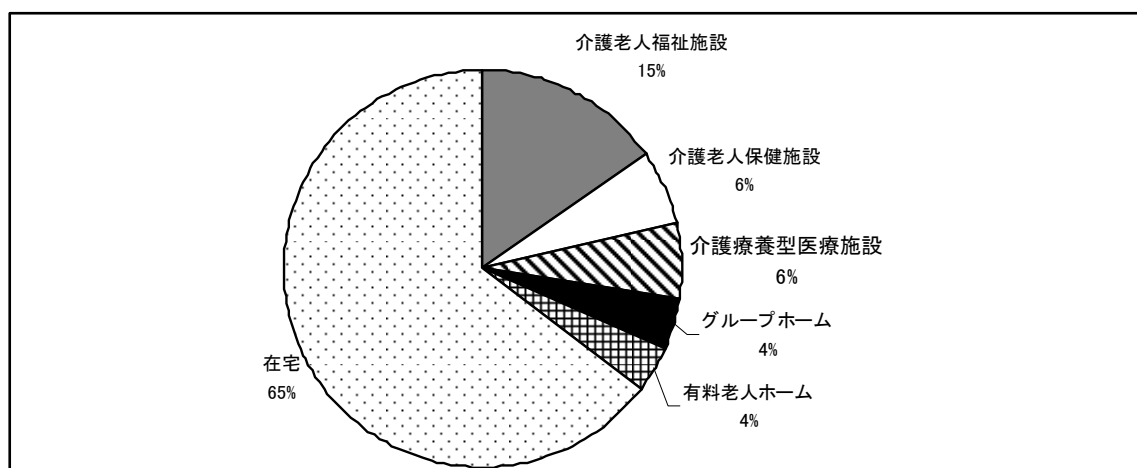
「③」のひとり暮らしの方（310人）のうち施設系サービスの利用を分析しました。

（単位：人）

	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	0	1	4	14	14	14	47
介護老人保健施設	0	4	3	4	7	1	19
介護療養型医療施設	0	0	0	15	4	0	19
グループホーム	0	5	5	0	3	0	13
有料老人ホーム	4	1	1	3	1	1	11
合計	4	11	13	36	29	16	109

特別養護老人ホームと介護療養型医療施設には要介護3～5の方が多く入所しています。

ひとり暮らし高齢者の施設系サービス利用状況(上:居所別割合、下:居所ごとの介護度分布)



⑤ 現在利用しているサービス(要介護1～5の方)

利用している介護保険のサービスをお尋ねしました。(複数回答)

(単位：人)

	人 数	利用率
1 訪問介護 (ヘルパー)	199	20.1%
2 訪問入浴介護	70	7.1%
3 訪問看護	126	12.7%
4 訪問リハビリテーション	36	3.6%
5 居宅療養管理指導	69	7.0%
6 通所介護 (デイサービス)	306	30.9%
7 通所リハビリテーション	93	9.4%
8 短期入所生活介護 (ショートステイ)	151	15.3%
9 短期入所療養介護	14	1.4%
10 福祉用具貸与・特定福祉用具販売	244	24.7%
11 居宅介護住宅改修費支給	98	9.9%
12 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)	33	3.3%
13 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	176	17.8%
14 介護老人保健施設	94	9.5%
15 介護療養型医療施設	44	4.4%
16 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	49	5.0%
17 認知症対応型通所介護	20	2.0%
18 施設入浴サービス (特別給付)	15	1.5%
19 搬送サービス (特別給付)	37	3.7%
20 何も利用していない	42	4.2%

利用率は要介護1～5の方の回答者数989人で割ったものです。

デイサービス、福祉用具、ヘルパー、特別養護老人ホームの利用が主なものです。

⑥ 現在利用しているサービス(要支援1・2の方)

利用している介護保険のサービスをお尋ねしました。(複数回答)

(単位：人)

	人 数	利用率
1 介護予防 訪問介護 (ヘルパー)	100	29.2%
2 介護予防 訪問入浴介護	3	0.9%
3 介護予防 訪問看護	6	1.7%
4 介護予防 訪問リハビリテーション	6	1.7%
5 介護予防 居宅療養管理指導	6	1.7%
6 介護予防 通所介護 (デイサービス)	100	29.2%
7 介護予防 通所リハビリテーション	52	15.2%
8 介護予防 短期入所生活介護 (ショートステイ)	9	2.6%
9 介護予防 短期入所療養介護	1	0.3%
10 介護予防 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)	8	2.3%
11 介護予防 福祉用具貸与・特定介護予防福祉 用具販売	42	12.2%
12 介護予防 住宅改修費支給	41	12.0%
13 介護予防 認知症対応型通所介護	2	0.6%
14 介護予防 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	0	0
15 搬送サービス (特別給付)	10	2.9%
16 何も利用していない	66	19.3%

利用率は要支援1・2の方の回答者数342人で割ったものです。

ヘルパー、デイサービス、福祉用具、住宅改修の利用が主なものです。

⑦ 介護保険のサービスに満足していますか。

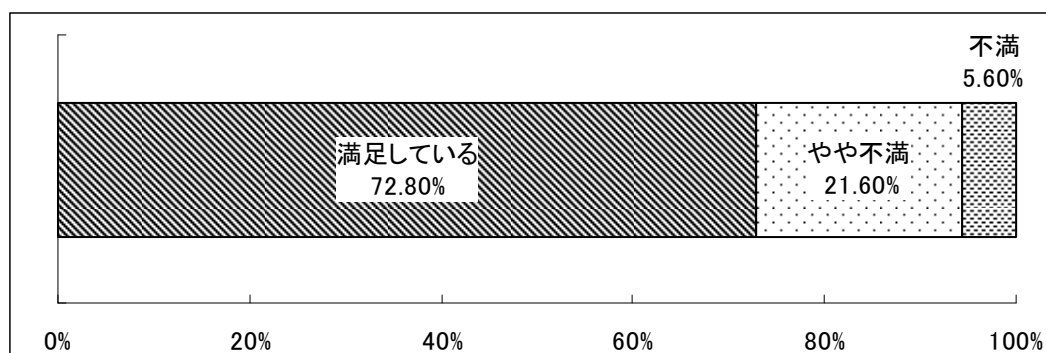
介護保険のサービスに満足しているかをお尋ねしました。

(単位：人)

	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	割合
満足している	171	129	106	110	69	55	640	72.8%
やや不満	39	37	42	34	20	18	190	21.6%
不満	21	8	7	5	6	2	49	5.6%
合計	231	174	155	149	95	75	879	100%

「やや不満」、「不満」の方の意見としては、「ヘルパーを利用するにあたり（生活援助などの）制限が多い」、「夜間に対応するサービスがない」、「自己負担が高い、介護保険料が高い」、「(特別養護老人ホームに)入所申請しているが待機期間が長い」、「ショートステイなどを利用したい時に利用できない」などがありました。

介護保険のサービスに満足か



⑧ ケアプラン作成はスムーズに行えましたか。

ケアマネジャーとケアプラン作成がスムーズに行えたか、お尋ねしました。

(単位：人)

	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	割合
スムーズに行えた	209	155	135	145	86	69	799	93.2%
スムーズに行えなかった	17	13	8	6	10	4	58	6.8%
合計	226	168	143	151	96	73	857	100%

スムーズに行えなかった方の意見としては、以下のような意見がありました。

- ・ ケアマネジャー不足で事業所をいくつも連絡し3社目でようやく引き受けてくれた。
- ・ ケアマネジャーからの説明不足や連絡が悪い。
- ・ 書類が多すぎる。高齢者では手続きが大変。

⑨ 何も利用していない理由

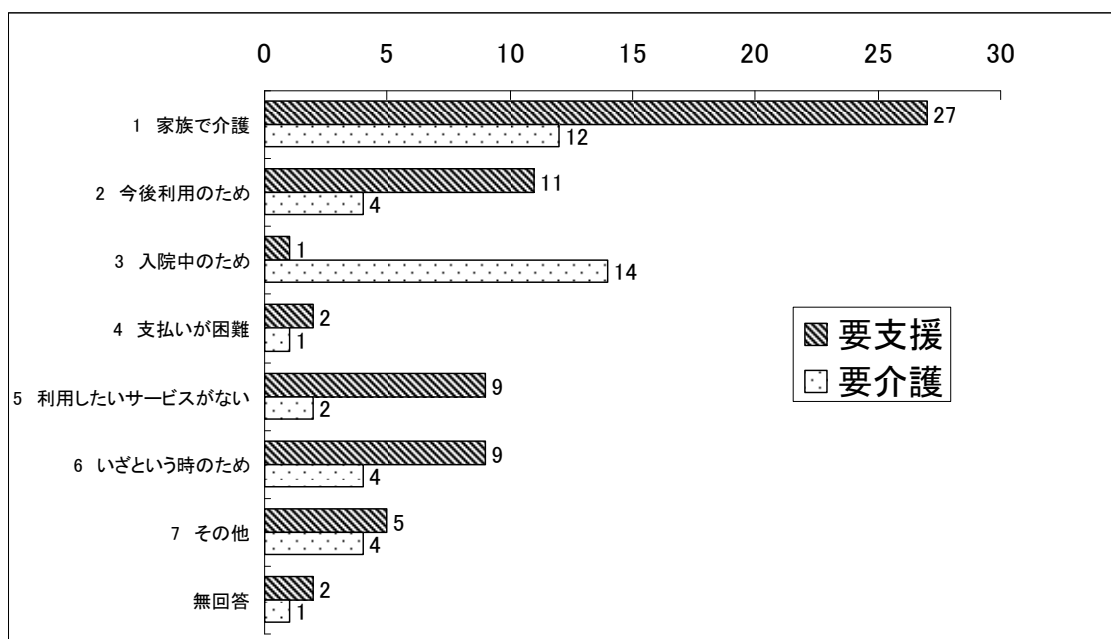
要介護認定を受けていてサービスを利用していない理由を聞きました。

(単位：人)

	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
1 家族で介護	27	7	3	1	0	1	39
2 今後利用のため	11	3	0	1	0	0	15
3 入院中のため	1	0	0	2	3	9	15
4 支払いが困難	2	0	0	1	0	0	3
5 利用したいサービスがない	9	2	0	0	0	0	11
6 いざという時のため	9	2	2	0	0	0	13
7 その他	5	2	0	2	0	0	9
無回答	2	1	0	0	0	0	3
合計	66	17	5	7	3	10	108

「家族で介護」の方が39人(36.1%)であり、要支援1・2で顕著となっています。

介護保険サービス未利用の理由



⑩ 特別養護老人ホーム入所申請関係(要介護1～5の方)

特別養護老人ホームに入所申請をしているかお尋ねしました。

(単位：人)

		人 数	割 合
入所申請中	待機期間が1年未満	34	5.4%
	1～2年未満	28	4.4%
	2年以上	57	9.0%
小 計		119	18.8%
入所申請していない	今後もしない	80	12.7%
	ゆくゆくは申請したい	183	28.9%
	わからない	250	39.6%
小 計		513	81.2%
合 計		632	100.0%

632人は回答者数です。

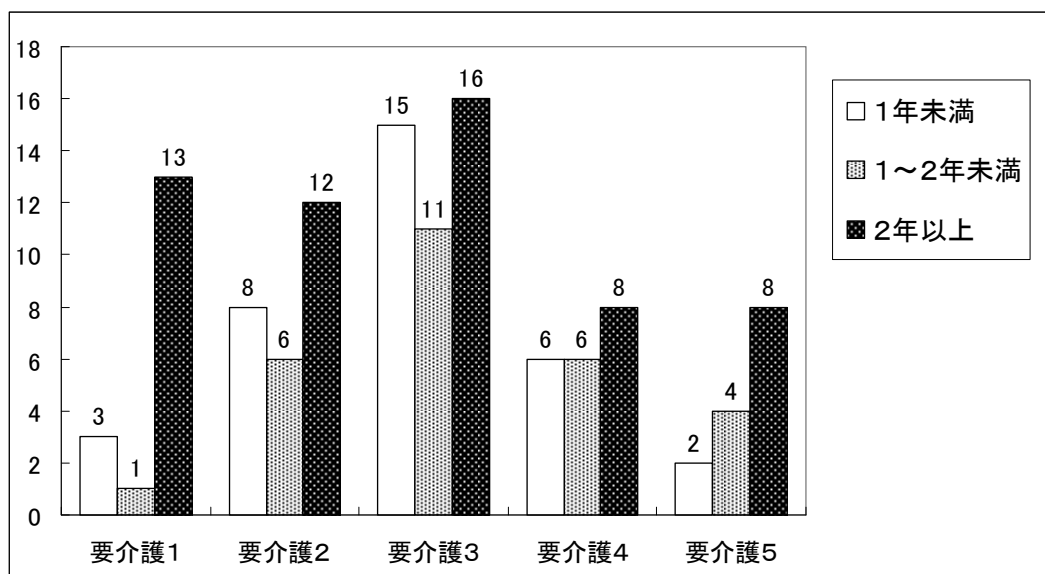
⑪ 特別養護老人ホーム入所申請中の方の要介護度別集計

(単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
待機期間が1年未満	3	8	15	6	2	34
待機期間が1～2年未満	1	6	11	6	4	28
待機期間が2年以上	13	12	16	8	8	57
合 計	17	26	42	20	14	119

要介護1, 2の方の待機年数が長くなっています。これは、県の「特別養護老人ホーム入退所指針」に基づく「入所の必要性を評価する基準」により、要介護度・介護者の状況・待機年数などで優先順位付けした上で各施設が入所判定しているためと思われます。

特養待機者の待機期間(要介護度別)



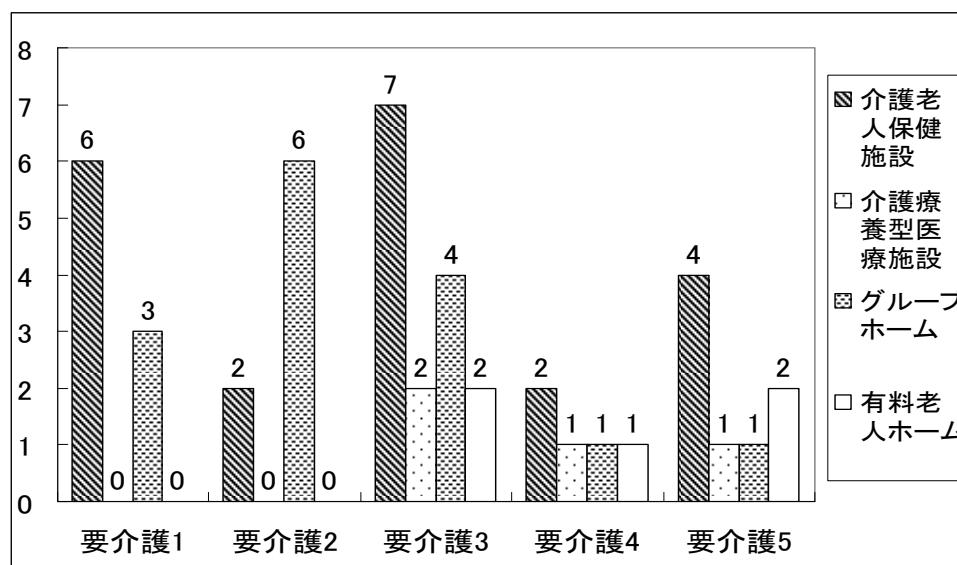
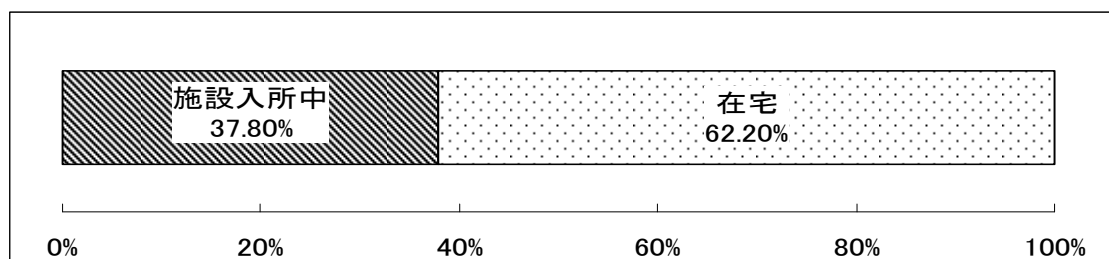
⑫ 特別養護老人ホーム入所申請中の方の状況

(単位：人)

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	割合
施設入所	介護老人保健施設	6	2	7	2	4	21	17.6%
	介護療養型医療施設	0	0	2	1	1	4	3.4%
	グループホーム	3	6	4	1	1	15	12.6%
	有料老人ホーム	0	0	2	1	2	5	4.2%
	小計	9	8	15	5	8	45	37.8%
在宅	ひとり暮らし世帯	3	3	5	1	1	13	10.9%
	高齢者のみの世帯	0	3	5	5	2	15	12.6%
	その他の世帯	5	12	17	9	3	46	38.7%
	小計	8	18	27	15	6	74	62.2%
合計		17	26	42	20	14	119	100%

入所申請中 119 人のうち現在、他の施設等に入所している方が 45 人 (37.8%) となっています。在宅では介護度が重く、ひとり暮らしの方は少なくなっています。

特養待機者の状況 (上：施設・在宅別、下：施設入所者の介護度・施設別)



⑬ 今後どのような施設があれば良いと思いますか。(要介護1～5の方)

(単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	51	58	61	34	15	219
介護老人保健施設	23	14	9	6	3	55
介護療養型医療施設	36	26	28	17	34	141
グループホーム	14	4	12	4	1	35
有料老人ホーム	7	9	3	3	2	24
シルバーハウジング	11	12	8	6	5	42
合計	142	123	121	70	60	516

最多は特別養護老人ホーム、次に介護療養型医療施設、介護老人保健施設と続きます。

「シルバーハウジング」とは住宅に困窮する高齢者に、緊急通報システム等が設置された市営住宅を提供し、自立生活を支援するために生活援助員が派遣されるもので、現在市内に1カ所（市営住宅の1棟）あります。

3 高齢者実態調査

ここでは、平成19年度に実施した「高齢者実態調査」の結果を記載しました。調査の概要と結果は、以下のとおりです。

(1) 調査の概要

① 調査の目的

65歳以上の介護保険第1号被保険者で要介護・要支援認定を受けていない方(以下、未認定者)に対して、現在の生活状況、また介護に対してどのようなご意見をお持ちかアンケートを行い、今後の介護保険事業計画策定の基礎資料を得ることを目的としました。

② 調査の期間

平成19年10月15日から11月30日まで

③ 調査の対象者及び方法

調査対象は、平成19年9月30日現在で65歳以上の第1号被保険者のうち、未認定者1,000名を抽出しました。調査票の配布、回収は郵送により行いました。

平成19年9月30日現在の第1号被保険者数 (単位：人)

第1号被保険者数	対象者数	配布数	回答数	回答率
97,341	83,781	1,000	701	70.1%

※対象者数は第1号被保険者数から要介護・要支援認定を受けていた13,560人を引いたものです。

(2) 調査の結果

① 調査の回答者

調査票への回答者をお尋ねしました。

(単位：人)

	人数	割合
本人	635	90.6%
家族	59	8.4%
その他	2	0.3%
無回答	5	0.7%
合計	701	100.0%

② 対象者の年齢

対象者の年齢をお尋ねしました。

(単位：人)

	人 数	割 合
65～69歳	253	36.1%
70～74歳	192	27.4%
75～79歳	142	20.3%
80～84歳	78	11.1%
85～89歳	25	3.6%
90～94歳	8	1.1%
無回答	3	0.4%
合 計	701	100.0%

合計 701 人のうち、前期高齢者（65 歳から 74 歳）が 63.5%（445 人）、後期高齢者（75 歳以上）が 36.5%（256 人）となりました。

* 90 歳以上の方（8 人）について

- ・ 90 歳が 3 人、91 歳が 1 人、92 歳が 1 人、93 歳が 1 人、94 歳が 2 人です。
- ・ 最高齢は 94 歳でした。

③ 世帯の状況

世帯の状況をお尋ねしました。

(単位：人)

	人 数	割 合
ひとり暮らし（本人のみ）	95	13.6%
高齢者のみの世帯（家族が 65 歳以上）	280	39.9%
その他世帯（64 歳以下の方がいる）	318	45.4%
無回答	8	1.1%
合 計	701	100.0%

ひとり暮らしと高齢者のみの世帯の合計が半数を超えています。

④ 同居の家族以外で困った時に相談できる方がいるかお尋ねしました。(複数回答)

(単位：人)

	人 数	割 合
1 子供・子供の家族	506	72.2%
2 その他の親戚	229	32.7%
3 近所の人	104	14.8%
4 友人	123	17.5%
5 町内会・自治会の人	22	3.1%
6 民生委員	47	6.7%
7 市役所の職員	19	2.7%
8 その他	9	1.3%
9 いない	35	5.0%

同居の家族以外に相談できる方がいない方が5%となっています。

⑤ 地域で暮らしていくために、生活に関する情報で、もっとほしい情報をお尋ねしました。

(複数回答)

(単位：人)

	人 数	割 合
1 健康づくり、介護予防	258	36.8%
2 地域の社会資源（困りごとに対応してくれる所や人など）	143	20.4%
3 ボランティア活動、地域の活動、NPO活動	49	7.0%
4 趣味、スポーツ、旅行	147	21.0%
5 教養講座等の学習活動	52	7.4%
6 介護サービス、福祉サービスなど	210	30.0%
7 その他	2	0.3%
8 ない	125	17.8%

健康づくり・介護予防の情報が多く求められています。

⑥ 日頃どのような運動をされているかお尋ねしました。(複数回答)

(単位：人)

	人 数	割 合
1 散歩、散策	410	58.5%
2 早歩き、ジョギング	68	9.7%
3 ゲートボール	8	1.1%
4 ゴルフ	44	6.3%
5 テニス	9	1.2%
6 体操	98	14.0%
7 ダンス	29	4.1%
8 ハイキング、登山	42	6.0%
9 水泳、水中ウォーキング	30	4.3%
10 その他	41	5.8%
11 何もしていない	132	18.8%

「その他」には、卓球、ヨガ、自転車、家庭菜園、農業、買い物などがありました。

⑦ 運動以外にどのような趣味をおもちかお尋ねしました。(複数回答)

(単位：人)

	人 数	割 合
1 花・庭木等の園芸	297	42.4%
2 編物等の手芸	91	13.0%
3 陶芸	7	1.0%
4 合唱、楽器演奏	37	5.3%
5 カラオケ	90	12.8%
6 旅行、ドライブ	222	31.7%
7 囲碁、将棋	48	6.8%
8 カメラ、写真撮影	46	6.6%
9 パソコン	55	7.8%
10 その他	56	8.0%
11 何もしていない	84	12.0%

「その他」には、読書、書道、絵画、俳句、音楽鑑賞、絵画鑑賞、釣りなどがありました。

⑧ 介護予防サービスと講座について参加したことがあるかお尋ねしました。(複数回答)

(単位：人)

	人 数	割 合
1 運動機能向上	97	13.8%
2 栄養改善	29	4.1%
3 口腔の機能向上	18	2.6%
4 認知症サポーター養成講座	24	3.4%

高齢者一般施策として市内各地で実施していた、運動機能向上教室の参加経験率が比較的高くなっています。

参加したと回答した人は141人でした。

⑨ どのような介護予防に取り組んでみたいと思いますかお尋ねしました。(複数回答)

(単位：人)

	人 数	割 合
1 運動機能向上教室	329	46.9%
2 栄養改善教室	156	22.3%
3 口腔の機能向上教室	48	6.8%
4 認知症予防教室	281	40.1%

運動機能向上教室のほか、認知症予防教室への参加意向が高くなっています。

取り組んでみたいと回答した人は553人でした。

⑩ 「地域包括支援センター」が出来たことについてお尋ねしました。

(単位：人)

	人 数	割 合
1 知っている	125	17.8%
2 知らない	523	74.6%
無回答	53	7.6%
合 計	701	100.0%

本人や家族が要支援1・2に認定されたことがない場合、「地域包括支援センター」を利用する機会が少ないためと思われます。

⑪ 今後、介護が必要になったら、どこで介護を受けたいと思われませんかお尋ねしました。

(単位：人)

	人 数	割 合
1 在宅で介護を受けたい	354	50.5%
2 特別養護老人ホーム	87	12.4%
3 医療機関・老人保健施設	124	17.6%
4 グループホーム	9	1.3%
5 有料老人ホーム	44	6.3%
6 その他	11	1.6%
無回答	72	10.3%
合 計	701	100.0%

在宅での介護希望が半数を超えています。次に医療機関関係、特別養護老人ホームと続きます。